

令和5年度 第10回大潟区地域協議会次第

日時 令和6年1月25日(木) 午後6時30分から
会場 大潟コミュニティプラザ2階 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組について …資料No.1

(2) 「上越市青少年野外活動施設(大潟野外活動施設)の廃止について」の答申に対する回答について …資料No.2

4 協議事項

(1) 地域協議会活動報告会について …資料No.3

(2) 地域活性化の方向性の課題の整理について …資料No.4

5 その他

・次回地域協議会開催予定日

2月 15日(木)

6 閉会

日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組について

1 施設の現状

- ・ 当該カテゴリーの施設は、合併前の各市町村において、主に地域振興を目的に国県等の補助金を活用し建設されたもの
- ・ 現在供用中の施設は9施設、うち、現状維持施設が2施設（くるみ家族園、うみてらす名立）、温浴機能廃止後の施設の活用方法について地元と協議中の施設が1施設（ろばた館）、引き続き協議となっている施設が6施設となっている。

【引き続き協議となっている6施設の状況】

No.	施設名	利用者数(人)		R4 公費 投入額 (千円)	施設設置年	
		当初	R4			※法定 耐用年数
1	大潟健康スポーツプラザ 鶴の浜人魚館	168,662	77,493	77,500	H9	R10
2	吉川ゆったりの郷	158,028	110,674	27,336	H9	R10
3	くわどり湯ったり村	121,396	28,646	50,338	H11	R28
4	牧湯の里深山荘	50,328	11,111	24,848	S61	R15
5	柿崎マリンホテルハマナス	23,667	12,071	41,467	H6	R23
6	板倉保養センター（やすらぎ荘）	73,834	32,500	16,960	H8	R11
計		747,598	272,495	238,449		

※ 法定耐用年数 …… 国税庁が定める法定耐用年数に到達する年度

2 第4次上越市公の施設の適正配置計画（令和3年2月策定）に基づく取組

(1) 6施設の取組方向

地域振興において、これまで重要な役割を担ってきたことから、地域の実情を踏まえ、地域住民等と協議し方向性を検討していくこととしている。

(2) これまでの取組

ア 施設の現状の地域への報告（令和2年度から）

毎年度、指定管理者である「第三セクター等」の経営状況とあわせ、施設の利用状況や収支状況について、施設が所在する地域協議会等へ説明し、意見交換を実施

イ サウンディング型市場調査の実施（令和4年度）

時期	内容
令和4年 7月～8月	施設機能の継続に向け、民間活力の活用を検討することとし、各施設のサウンディング型市場調査の実施について、地域協議会へ説明し、意見交換
令和4年 9月～12月	サウンディング型市場調査を実施 「民営化（施設の譲渡・貸付け）による施設の利活用の提案」や「現状の公設民営による運営を前提とした施設の利用促進等に係る提案」について、対話を実施し、一部施設で民間事業者の需要を確認
令和5年3月	各施設のサウンディング型市場調査の結果について、地域協議会へ説明

ウ 第三セクター等評価委員会（外部有識者）における取組（令和5年度）

- ・ 第1回第三セクター等評価委員会（5月26日）
施設利用者数の推移を始めとする「施設の利用状況」について説明
- ・ 6施設の視察（9月21日、22日）
施設の状況について視察するとともに、現管理者に客層等をヒアリング
- ・ 第2回第三セクター等評価委員会（11月2日）
本取組について説明し、アドバイスを受ける。

3 今後の取組

(1) 基本方針

- ア 施設の管理は民間活力の活用を基本とし、施設の機能継続や更なる利活用に向け、施設の譲渡・貸付けによる民営化や指定管理者への民間参入を検討する。
- イ 民営化できない施設については、公の施設としての必要性を地域住民等と時間をかけ協議し、方向性を検討する。
- ウ 施設建設から相当程度の年数が経過し、老朽化も進んでいることを踏まえ、施設の建替えや大規模なリニューアルは行わない。

(2) 機能継続に向けた民間活力の活用

ア プロポーザルの実施（令和6年4月以降）

- ・ 温浴施設の機能継続に向け、民間の自由な発想の下、行政の管理に縛られない幅広い施設の活用方法について提案を受ける。
- ・ 民間事業者から良い提案があり、機能継続が見込まれる場合は、施設の譲渡貸付けによる民営化を検討する。
- ・ なお、機能継続に必要な財政支援についても検討する。

【プロポーザルになじまない施設】

施設名	理由
大潟健康スポーツプラザ 鵜の浜人魚館	上越体操場の機能と鵜の浜温泉街の魅力を相乗的に高める可能性を持つため
吉川ゆったりの郷	行政が設置（運営）する「道の駅」の主要施設の一つであるため

イ 指定管理者の公募（令和6年9月以降）

- ・ プロポーザルになじまない施設を含め、民営化できなかった施設については、令和7年4月の指定管理者の更新に際し、指定管理者を公募により選定する。
- ※ プロポーザルや指定管理の公募に当たっては、第三セクター等を含め現在の指定管理者の事業譲渡・従業員への雇用継続を条件とする。

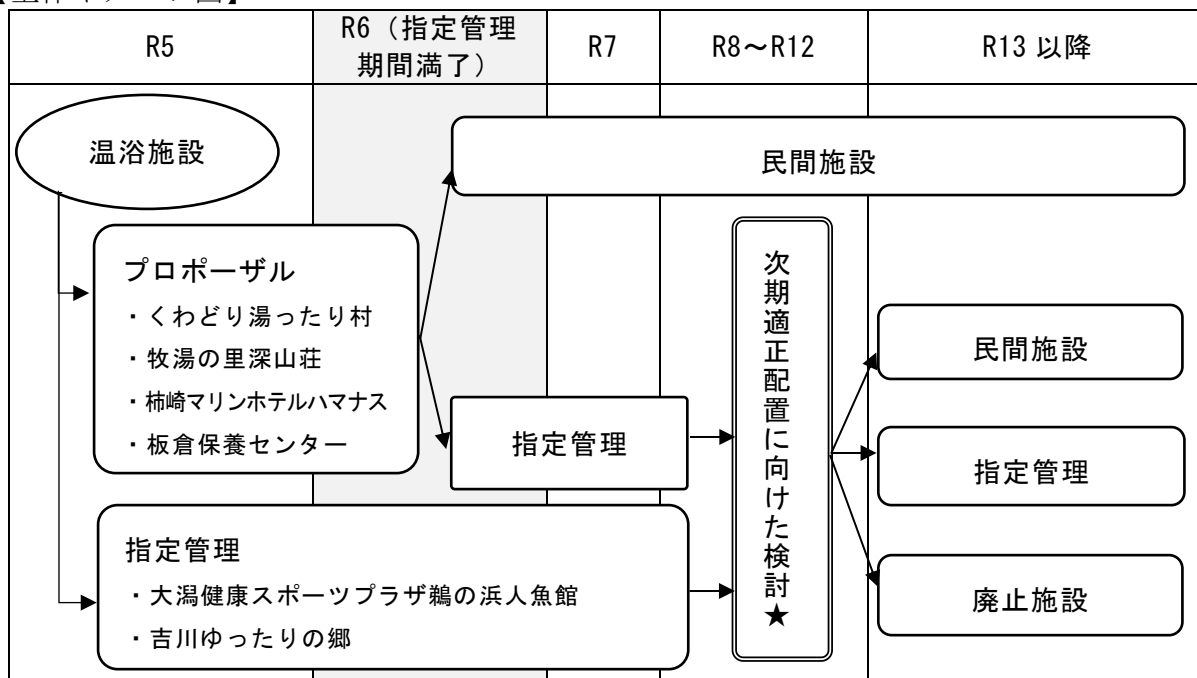
(3) 公の施設としての方向性の検討（令和8年度から12年度）

- ・ 次期上越市公の施設の適正配置計画（令和13年度からの10年間）の検討に当たり、スポーツ施設や集会施設とあわせ、民営化できなかった日帰り・宿泊温浴施設について、公の施設としての方向性を地域住民等と時間をかけて協議し、方向性を決定する。

【参考：本取組に関する第三セクター等評価委員会の見解】

- ・ 長い期間での取組になる点が若干気になるが、方向性については妥当と考える。
- ・ 事業承継・引継ぎ支援センター（国が設置する公的相談窓口）の経験から、海沿いの施設については、長野県など海なし県の事業者にとって、非常に価値があるものだと感じている。
- ・ 資産を譲渡し、民営化することにより、条例等に縛られることなく、民間事業者が自由な発想で運営できると考えられる。

【全体イメージ図】

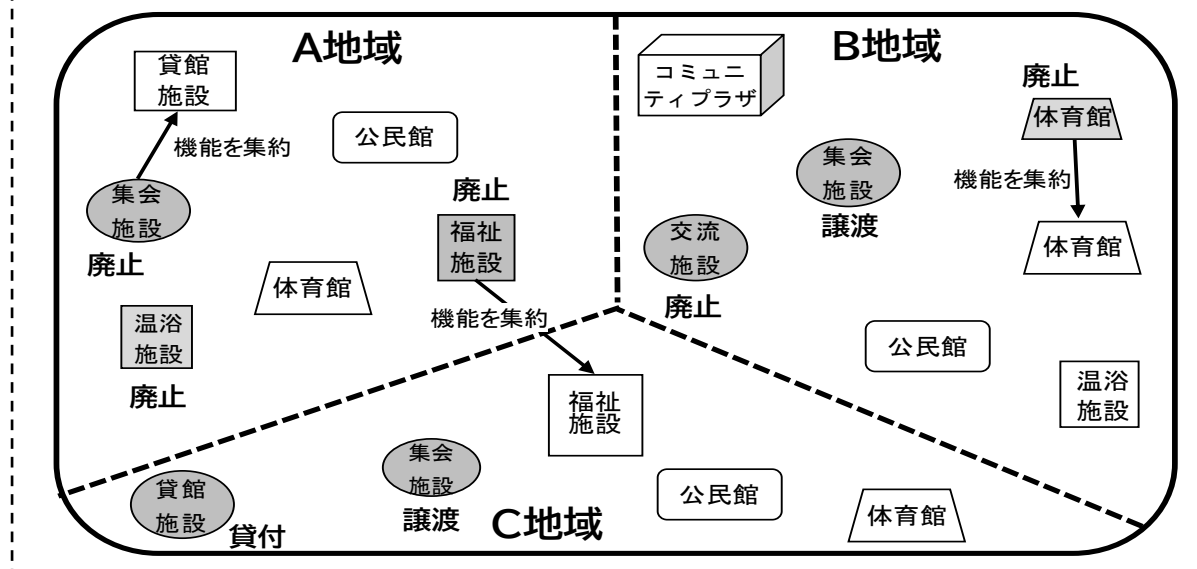


※ 基本的に上記のイメージ図のとおり取組を進めていくが、老朽化等により施設の機能維持が困難になった場合や地域社会の状況変化によって施設の必要性が著しく低下した場合は、その時点で地域と協議し、施設の方向性を決定する。

★【補足：次期適正配置に向けた検討の内容】

- ・ 第4次上越市公の施設の適正配置計画に記載している下記の考え方にに基づき検討を進めるもの

- ・ 施設の適正配置の検討に当たっては、施設の用途や機能、利用圏域（施設の利用者の居住地域）等を踏まえ、該当するカテゴリーの各施設を「広域拠点施設」、「市域拠点施設」、「地域圏拠点施設」、「生活圏拠点施設」、「コミュニティ圏拠点施設」に区分し、それぞれの区分において、各カテゴリーにおける施設の配置バランスを検討する。
- ・ 「地域圏拠点施設」及び「生活圏拠点施設」については、地域のまとまりや居住状況のほか、カテゴリーごとの施設の配置状況等を踏まえ地域区分を設定する。



上教社第 122 号
令和 6 年 1 月 15 日

大潟区地域協議会
会長 佐藤 忠治 様

上越市長 中川 幹 木
(教育委員会社会教育課)



上越市青少年野外活動施設（大潟野外活動施設）の廃止について（通知）

令和 5 年 12 月 22 日付けで答申のあった諮問第 64 号：上越市青少年野外活動施設（大潟野外活動施設）の廃止について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、上越市青少年野外活動施設（大潟野外活動施設）を廃止することとし、令和 6 年上越市議会 3 月定例会に所要の条例案を提出します。

令和6年1月25日(木)
第10回大潟区地域協議会
資料No.2(参考資料)

令和5年12月22日

(宛先) 上越市長

大潟区地域協議会
会長 佐藤 忠治

上越市青少年野外活動施設（大潟野外活動施設）の廃止について（答申）

令和5年12月15日付上教社第5665号で諮問のあった、諮問第64号：上越市青少年野外活動施設（大潟野外活動施設）の廃止について、地域住民の生活に支障はないものと認めます。

令和5年度大潟区地域協議会活動報告会（案）

1 開催趣旨

- ・令和5年度の大潟区地域協議会の活動報告を行い、地域協議会の活動内容を周知する。
- ・現委員の任期満了（令和6年4月28日）に向けて、次期委員の担い手の確保につなげる。

2 開催日時 令和6年2月29日（木）18：30～19：30

3 会 場 大潟コミュニティプラザ2階 多目的ホール

4 スケジュール

時間案	内容
18：00～	開場
18：30～18：35	開会
18：35～18：55	大潟区地域協議会の活動報告
18：55～19：15	活性化の方向性について
19：15～19：25	委員の公募について

5 対 象 大潟区内住民（広報等で周知）

6 参 集 者 地域協議会委員、町内会、まちづくり大潟、小・中学校PTA、小・中学校後援会、大潟区防犯組合、上越交通安全協会大潟支部、おおがたスポーツクラブ、地域活動支援事業提案団体（R2～R4）他

7 周知方法 ・各団体には個別に周知
 ・防災行政無線 ・まちづくり大潟の広報誌に掲載

8 委員役割分担 会場準備（都合のつく委員全員） ※17：45 集合時間

発表者（3名） 地域協議会の活動報告 _____
 活性化の方向性（全体） _____
 （深堀） _____

司 会（1名） _____

受付係（2名） _____

案内係（司会、受付以外の委員）

地域活性化の方向性の課題の整理について【意見集約】

1. 活性化の方向性検討テーマ
鵜の浜温泉、北國街道・潟町宿をはじめとする
大潟の歴史遺産や観光資源の魅力を発信

2. 地域協議会委員意見（抜粋）
※12/21 地域協議会及び委員報告内容より

(1) 現状・課題

◎地域資源

- ・北國街道・潟町宿のことを知らない人が多い。
- ・大潟区では「地域の宝」を出しており、それにより訪れる人も増えている。
- ・どんどの池を紹介すると、湧き水があることと町並みが良いことが好印象だった。
- ・広大な田園地帯と米山などが一望できる。白鳥の飛来や野鳥観察もされている。
- ・白鳥の飛来や野鳥観察もされている。

◎情報発信

- ・大潟は観光ガイドがない。
- ・大潟のよいところとしてどこを紹介よいか。
- ・偉人・歴史・文化の発信が弱い。
- ・地域全体の魅力づくりの人材不足。
- ・「大潟地域の魅力の全体像」がどこにも存在しない。

(2) 取組方法

◎提案内容等

- ・魅力を発信する組織がほしい。
- ・歴史にからめたウォーキング、歩く道は良い。
- ・地元潟町宿の魅力発信。
- ・「潟町宿」や「北國街道」の看板や登り旗の設置。
- ・潟町宿 350 周年記念の「特別号」の復刻版の発行。
- ・大潟の魅力が一目でわかる Web サイトをつくる。

地域活性化の方向性
鵜の浜温泉、北國街道・潟町宿をはじめとする大潟の歴史遺産や観光資源の魅力を発信

- ・地域協議会でできることは観光協会とかに提言するなど。
- ・関係団体に声をかける。
- ・今までまちづくり大潟などにはパンフレット作成など実績がある。
- ・関係団体と話をしてまとめたらどうか？
- ・協議会での話し合い結果をどう扱うか。具現化する組織はあるか？
- ・コンベンション協会は13区のことにはやってくれない。魅力発信の組織がほしい。区内での組織。(まちづくり大潟は魅力発信はしない)

- 課題
- ・佐渡金山の世界遺産、認定されたらイベントが多数あるだろう。
 - ・黒井宿、春日新田宿等は看板がある。
 - ・北国街道の潟町宿があったことを発信。知らない人が多いのではないか？若い世代の人にも知ってもらう。
 - ・大潟には看板がないので、看板があると良い。
 - ・出雲崎と安中、チラシあり。大潟の情報が入っていた。
 - ・大潟では目に見えるものがない。
 - ・潟町町内会が発行した資料はあり、町内には配布したが、大潟全体には知らせていない。
 - ・大潟町史には記載がある。
 - ・北国街道がどのあたりを通過していたか、大潟の様子がわからない。
 - ・犀潟でボランティア活動を行っており、新堀橋は歴史史料を確認中。
 - ・明治に天皇が訪れる際には橋を修繕し、その休憩場所も残されている。
 - ・かつては浜道というルートも存在したようだ。
 - ・信州の人は準備しているようだ。出雲崎も大規模な活動を計画しているかもしれない。

- 課題
- ・いろいろな資源を観光誘客につなげていく。
 - ・地域の宝で、大潟も2箇所を出しており、それにより訪れる人も増えている。
 - ・地域外の人に「大潟の良いところを教えて」と言われたらどこを紹介する？
 - ・どんどの池を紹介すると、湧き水があることと町並みが良いことに好印象であった。
 - ・丘の上から頸城に向かう風景も素晴らしく、広大な田園地帯と米山などが一望できる。さらに、白鳥の飛来や野鳥観察もされている。
 - ・大潟は観光ガイドがない。
 - ・小山作之助の紹介をしているグループがある。

地域で誇れる場所はどこ？
今、足りないのは何か？

- ・DVDはある。
- ・歴史にからめたウォーキング、歩く道は良いと思う。事例：群馬、佐渡などでイベントをやっている。

- ・吉川でのまちゼミ開催実績のチラシが入った。
- ・吉川の地域協議会の方向性が出た。
- ・大潟区の商業活性化を検討するか？大潟漁港で釣り人が来ている。海岸線の活かし方を検討したらどうか。

- 【各委員による課題等の報告】・・・11/22開催の地域協議会資料より
- ・①当時の北國街道の大潟区内のルートや位置関係、②潟町宿や黒井宿の存在した意義、③当時の人々の文化や交流などを課題として取り組み、地域の魅力を再発見できれば素晴らしいと思う。
 - ・地域魅力向上について意見交換でいいのではないですか
 - ・「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を見据えて、地元潟町宿の魅力発信
 - ・偉人・歴史・文化の発信が弱い。
 - ・大潟の歴史遺産や観光資料となるものに何かあるのかを知らせる。
 - ・他区(所)より来区された方や、世代交代により、昔(歴史)を知る住民が少なくなっている。
 - ・小中学校で課外授業として学んでもらう。
 - ・大潟区の歴史・観光を問題にして誰でも参加できるテスト形式で競い合う。
 - ・夕日の森展望台付近の整備がなされていなく、展望台から下の砂浜まで階段があるにもかかわらず降りて行けない。
 - ・地域の魅力として活用されていない。(地域全体の魅力づくりの人材不足)→発信不足。
 - ・佐渡金銀山の世界遺産の認定された場合考え、北國街道及び柿崎宿・黒井宿と連携して潟町宿の魅力を発信する。
 - ・「潟町宿」の看板製作と設置、「ここは北國街道」ののぼり旗の製作と沿道への設置。
 - ・潟町宿350周年記念の「特別号」の復刻版の発行
 - ・潟町宿・柿崎宿を歩く会。
 - ・佐渡の金銀山の世界遺産登録が目前であり、実現すると金銀を江戸へ運んだ出雲崎から高田経由、分岐点の信州の中山道までの「北國街道」が注目され、話題となるのは必然であることから、大潟区内で金荷駄が通った道、【北國街道】の道筋を想定し、定める活動につなげる。
 - ・大潟の「水と緑」は日本海と五つの潟湖、緑は「黒松」が象徴、松くい虫対策と植樹が急務
 - ・現在は地域外の人が見てわかるような「大潟地域の魅力の全体像」がどこにも存在しない。意見：大潟の魅力が一目でわかるWebサイトをつくるのが望ましい。